

セメント系高流動無収縮充填材

ビルモル グラウト

～水で練って流すだけの高品質・一材型の高流動性充填用モルタル材～

【ビルモル グラウト】

日本建築仕上材工業会登録

登録番号	0810026
放散等級 区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.nsk-web.org/

〔目 的〕

この施工マニュアルは「ビルモルグラウト」の施工に当り「品質の維持」を確保するためのマニュアルです。

〔用途・適用下地〕

- ・「ビルモルグラウト」は各種機械基礎部分や鉄骨基礎部分および橋脚鋼板巻き立て等、狭い空隙に充填する既調合モルタルです。
- ・コンクリートやモルタルなどの床下地面

〔特 長〕

水練り後、流し込むだけで狭い空隙に隙間なく充填できます。また、無収縮性なので上部構造物に密着できます。

〔規格・法令〕

「ビルモルグラウト」は、一般社団法人 公共建築協会
「鉄骨柱下無収縮モルタル（Bタイプ）」における評価品です。

〔使用材料〕

- 「ビルモルグラウト」 正味質量 25 kg 防湿紙袋入り
- 「NICE ラテックス #45」 18kg（ペール缶）

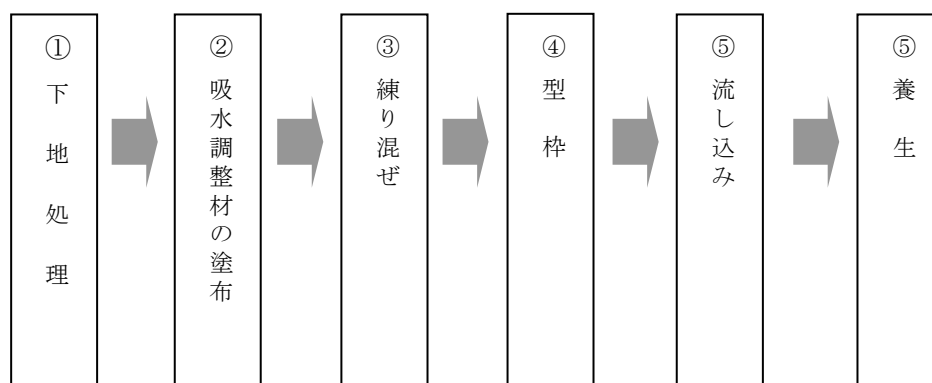
〔調 合〕

「ビルモルグラウト」	1袋（25 kg）	清 水	約 4.25ℓ
------------	-----------	-----	---------

「NICE ラテックス #45」 18kg（ペール缶）	「NICE ラテックス #45」：清水＝1：4 ※「NICE ラテックス #45」の5倍液
--------------------------------	--

施工 1 m ³ 当りの「ビルモルグラウト」必要量（袋数）の一例	
条 件	$\left\{ \begin{array}{l} \textcircled{1} \text{ 水 量} \quad \quad : 4.25\ell \\ \textcircled{2} \text{ 単位容積質量} : 2.18\text{kg}/\ell \\ \textcircled{3} \text{ 練り上がり量} : 13.4\ell / \text{袋} \end{array} \right\} \Rightarrow 7.5 \text{袋} / \text{m}^3$

〔施工方法〕



① 下地処理

- 1) 下地のレイタンス、脆弱部分はワイヤーブラシやサンダー掛けで除去・清掃して下さい。油分の汚れは清浄等で十分清掃して下さい。
- 2) 流動性が高い材料なので流出を防ぐため、型枠等の間隙は適切に漏れ止め処理を行って下さい。
- 3) 躯体温度は 40℃以上にならないよう注意を払ってください。

② 吸水調整材の塗布

- 1) 吸水調整材「NICE ラテックス #45」(アクリル系) 1 に対して清水 4 の割合で混ぜて 5 倍希釈液とし塗布して下さい。
- 2) 「ビルモルグラウト」と下地との接着力増大のため刷毛で 2 回塗布して下さい。
- 3) 1 回目の塗布が乾燥してから 2 回目を塗布して下さい。
- 4) 2 回目の塗布が乾燥してから「ビルモルグラウト」を施工して下さい。

③ 練り混ぜ

- 1) 「ビルモルグラウト」1 袋 (25kg) に対して、標準水量約 4.25ℓ で混練りして下さい。
- 2) 約 20ℓ 程度の丸缶に標準水量の水を入れておき、モルタルハンドミキサーで攪拌しながら「ビルモルグラウト」を少しずつ投入し 3 分以上攪拌して下さい。
- 3) 練り混ぜた材料は 30 分以内で使いきるようにして下さい。

④ 型 枠

- 1) 型枠組立てにおいては、型枠の間隙は完全に塞いで下さい。
- 2) 型枠のハラミを防止するため、堅固に組立てて下さい。
- 3) 充填箇所が深い場合は、注入箇所端部に空気抜きを設けて下さい。また機材基礎等、平面上の打設の場合は、注入口の反対側に充填高さより高い位置に空気抜き口またはオーバーフローを設けて下さい。
- 4) 型枠の材質が鋼製の場合は必要に応じて剥離剤を塗布し、木製の場合は、防水剤または撥水剤を塗布しておいて下さい。

⑤ 流し込み

- 1) 流し込みは一方向から行き空気抜き口から「ビルモルグラウト」があふれるようにして下さい。
- 2) 小規模の場合、流し込む容器は水さしのついたバケツまたは如雨露等、適切なものを使用して下さい。
- 3) 中規模、大規模の場合、流し込む方法はモルタルポンプにて圧送すると作業性が上がります。この場合は前もってモルタルポンプの水運転を行い、ホッパーやホース内を湿潤状態にして下さい。

⑥ 養 生

- 1) 施工終了後、ビニールシート等で覆い、風や直射日光等急激な乾燥を防いで下さい。
特に夏期の施工では、乾燥、ひび割れ、ドライアウト防止の為にシート養生されることを推奨いたします。
- 2) 本品はセメント製品であるため低温・降雨・降雪・水塗れ・結露等により、白華（エフロレッセンス）が発生する場合があります。適切なシート・保温・採暖養生等を行って下さい。

使用上の注意事項

本品は厳重な品質管理のもと、工場にて製造された既調合です。

「使用上の注意事項」及び「取扱い時の安全対策（概要）」を確認の上、安全対策には十分留意してご使用下さい。

1. 既調合品の為、指定材料以外のものを練り混ぜないで下さい。なお、混練りには水道水等の清水を使用して下さい。
2. 混練りした材料は 30 分以内に使用して下さい。練り足しや加水して練り戻しをしないで下さい。
3. 強風や直射日光等による急激な乾燥を防止するため、シート養生等適切な措置をして下さい。
4. 本品使用時の施工は、気温が 5℃～35℃の範囲内で行ってください。
5. 製品の製造年月日を確認し、製造から 6 カ月以上経過した製品は使用しないで下さい。また、開封した製品はできるだけ早く使用して下さい。
6. 下地コンクリートが、JASS 5〈鉄筋コンクリート工事〉の標準を満たしていない場合は施工を避けて下さい。
7. 悪天候（降雨、降雪等）、またその恐れがある場合は施工を避けて下さい。

取扱い時の安全対策（概要）

・ 取扱い及び保管上の注意

1. 目や皮膚等に触れないように適切な保護具（保護手袋、防塵マスク、保護メガネ等）を着用して取り扱って下さい。また、取扱い後は顔、手、口等を水で洗浄して下さい。
2. 製品の保管は、セメント同様の取り扱いとし、雨露のかからない屋内の湿気の少ない場所に、床面から離して保管して下さい。

・ 応急処置

〔目に入った場合〕

直ちに清浄な水で最低 15 分間洗浄し、速やかに専門医の治療を受けて下さい。

〔皮膚に付着した場合〕

速やかに水または温水で十分に洗い流して下さい。肌荒れがひどい場合は、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

〔吸引した場合〕

速やかに新鮮な空気の場所へ移動し、水または温水でうがいを行って安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

〔飲み込んだ場合〕

水でよく口の中を洗う等して、直ちに医師の診断を受けて下さい。

・ 濾出時の注意

飛散した粉末は掃除機で吸い取って回収するか、ホウキやスコップで集め空袋等に回収して下さい。

・ 廃棄上の注意

廃棄する製品や混練り材等は硬化させてから、産業廃棄物として適切な処置をして下さい。また、洗浄水等の排出は水質汚濁防止法等に注意して下さい。

・ 輸送上の注意

破袋、荷崩れ、落下等の防止策を確実に行って下さい。また、降雨時の湿気や水漏れに注意して下さい。

※本マニュアルの内容は、断りなく変更することがありますので、ご了承ください。

プレミックスの開発メーカー  株式会社 豊 運



本社・営業本部 〒546-0003 大阪市東住吉区今川3丁目12番4号 TEL 06-6708-8131 FAX 06-6708-8133

東日本営業部 TEL 0247-54-3232 FAX 0247-24-1004 岡山営業部 TEL 0868-38-4001 FAX 0868-38-7022
大阪営業部 TEL 06-6708-8131 FAX 06-6708-8133 京都営業課 TEL 0771-86-0711 FAX 0771-86-0811

URL: <http://www.ho-un.co.jp/>

改訂 2013/05 第3版